

月曜から土曜まで 日ごと変わる恋人たちの愛により美しくカトリーヌは変身する!

SAT.
土曜日の恋人



MON.
月曜日の男



TUE.
火曜日の男



WED.
水曜日の男



THU.
木曜日の男



FRI.
金曜日の男



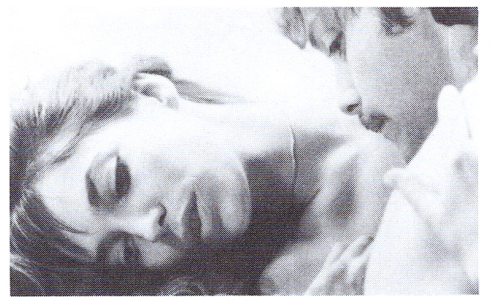
麗しの Catherine & Co.

カトリーヌ

〈テクニカラー〉
レロ・L・フックス作品

ジェーン・バーキン/パトリック・ドベール/ジャン＝ピエール・オーモン
ピットリオカプリオリ/ジャン＝クロード・ブリアリ/アンリ・ガルサン/メディ/ナタリー・クールバル
監督ミシェル・ポワロン 台詞カトリーヌ・ブレイラ/原作エドワード・ドゥッセゴンザク/ライブラリー・アルテム・ファーヤード
音楽ウラディーミール・コスマ 脚色カトリーヌ・ブレイラ/レロ・L・フックス/ア・フレンチ・イタリアン・コープロダクション
ワーナー・ブラザーズ映画/ビジュアル・プロダクションS・A. (パリ) P. I. C. (ローマ) From Warner Bros. A Warner Communications Company





麗しの Catherine & Co. カトリヌ



*解説

女は男によって変わる、とは昔からよく言われることだが、ここに登場するカトリヌは自分を愛する男たちを一流の金持たちで固め、さらに彼らを利用してカトリヌ・カンパニーを設立するという奔放な女。頭はキレるがあくまでも可愛い女である。

キュートなカトリヌを演じるのは「カトマンズの恋人」「ガラスの墓碑」のジェーン・バーキン。ファッション・モデル上りというだけに抜群のプロポーションにあふれるお色気はなかなかのもの。彼女をとりまく男たちには、「バルスーズ」「パリは霧にぬれて」などの新人パトリック・ドベールはじめ「アメリカの夜」の名優ジャン・ピエール・オーモン。「死刑台のエレベーター」から「黒衣の花嫁」まで数々の名作に出演し、最近では監督としても活躍しているジャン・クロード・ブリアリー。「おかしなおかしな大冒険」のピットリオ・カプリオリ。「愛の終りに」のア



ンリ・ガルサンなど超一流のベテランがズラリ顔を揃えている。

監督は「個人教授」の名匠ミシェル・ボワロン。撮影は「エマニエル夫人」の名手リシヤール・スズギ、音楽は大家ジョセフ・コスマの息子で「おかしなおかしな高校教師」「ニューヨーク・パリ大冒険」などの若手作曲家ウラデミール・コスマが担当している。

(上映時間 1時間41分)

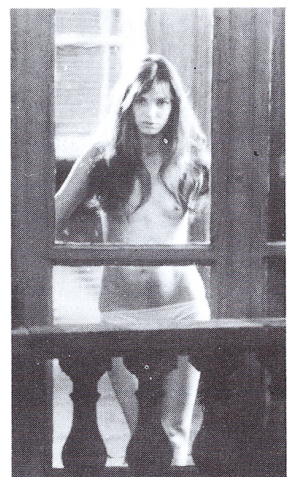
*ストーリー

イギリスをあとにしてカトリヌ(ジェーン・バーキン)はパリに着いた。財産といったら持ち前の自信と、美貌と、ずっと以前パリにきたら面倒みると約束してくれた雑誌記者の住所だけ。その雑誌社はすぐみつかったが、かんじんの記者は不在で、同情した別の記者がその夜ひらかれる友人ギョーム(ジャン・クロード・ブリアリー)のパーティーへ連れていってくれた。

プレーボーイのギョームがそんな彼女を黙って見すごすはせずはなく、喜んでその夜のベッドを提供したが、カトリヌは意外と頑強で、夜があけると、次のベッドをさがしに男から男の家を渡り歩いたが誰にも体を許しはしなかった。

あのパーティーで知り合った不動産会社づとめの赤髪娘モーブの世話で、ようやく自分のアパートに落ちついたのは、だからパリ到着後だいたいぶたつてからのことだったが、そのアパートの若い持主フランソワ(パトリック・ドベール)のラブ・テクニクにはさすがの彼女もゾッコン。

しかしこのままつき合っていたのでは、いつか捨てられるのが落ちだ。そこでカトリヌは、株のブローカーをやっているギョームに接近して金を出させると同時に、株の仕組みについての知識を吸収すると、今後は彼女自身に投資する株主たちをさがし始めた。彼らの投資と引きかえに、一週間のうち一晩だ



けカトリヌの所有権をそれぞれの株主に提供するというわけだ。

こうしてきまった男たちは——月曜日がピユイサルゲ侯爵、火曜が隣りに住む年下のトーマス、水曜がギョーム、木曜がイタリア男のモレット、金曜が雑誌記者のグランタン。この五日間を、カトリヌはそれぞれの男の好みに合わせた女になってすごすのだ。

そんな彼女をみて我慢できなくなったのは、次第に彼女を愛し始めていたフランソワで、その異常な生活をしきりになじったが、肉体関係と愛は別なのよ、と彼女は言うばかり。

かくするうち、ギョームの慎重な投資が実を結んで、カトリヌ・カンパニーは徐々に資産をふやし、利益配当のパーティーが開かれて、株主5人は別々に彼女の寝室で配当を受けつつあったが、それを見てもはやたまらずフランソワはカトリヌに求婚。

あっさり断られた彼はフィアンセの金持娘オスマータとの結婚にふみきったが、その式場に5人の男たちを引きつけてやって来たカトリヌはちゃっかり彼にこうささやいたのである。『土曜日はちゃんとあなたのためにあけてあるわよ……』

●国電有楽町下車・朝日新聞社ウラ

11月20日(土)ロードショー丸の内松竹(201) 3720

※前売り鑑賞券 ¥900 (一般1200円 大学生1100円)の処 劇場窓口にて発売中!

連日 11:30 1:30 3:30 5:30 7:30